

報道発表

2022年4月25日

株式会社京都テキストラボへの新規投資について

京都大学イノベーションキャピタル株式会社（以下「京都 iCAP」）（本社：京都市左京区、代表取締役：楠美公）を無限責任組合員とするイノベーション京都 2021 投資事業有限責任組合（以下「KYOTO-iCAP2 号ファンド」）は、京都大学発ベンチャー企業の株式会社京都テキストラボ（本社：京都市左京区、代表取締役：松尾 正信）に対する新規投資を実行いたしました。

○今回の投資の概要

京都テキストラボは、京都大学の教育学研究科 野村理朗准教授が代表として、情報学研究科 河原大輔准教授（現 早稲田大学 基幹理工学部 情報通信学科 教授）、京都情報大学院大学の松尾正信教授（現 京都テキストラボ社長）と連携した研究チームが、京都大学の起業活動支援プログラム（GAP ファンド）で取り組んだ「多言語センチメント分析による金融予測システムの開発とリリース」をベースに、心理学と情報学の専門家が設立し、研究成果を本格的に融合した国内初のベンチャーです。

研究チームは、ニュースや SNS などのテキスト情報にふれた人々の抱く心理・感情が、ある種の社会・経済動向に大きく影響を与えることを、心理学と情報学の研究成果の融合により実証しました。すなわち、情報学の国内最先端の自然言語処理モデルを基盤としつつ、心理学の感情と認知バイアス（もしくは感情と意思決定）の知見を加える工夫により、金融指標を従来にない高い精度で予測することに成功しました。まさに心理学と情報学の最新の研究成果を国内に先駆けて融合することにより、京都テキストラボでは、心理・感情、言語、社会・経済の関係に深く切り込んだ新しいアプリをローンチしていく計画です。

京都 iCAP は、京都テキストラボによる企業・団体や個人間の新しいコミュニケーションの創出や、メンタルヘルスの改善への貢献を期待し、その活動を支援すべく 30 百万円の投資を実行しました。

株式会社京都テキストラボ 概要

設立 2020年7月
事業内容 センチメント分析、自然言語処理を活用したアプリケーション開発
本社所在地 京都市左京区
代表取締役 松尾 正信（まつお まさのぶ）

○京都大学イノベーションキャピタル株式会社（京都 iCAP）について

京都 iCAP は、京都大学 100%出資子会社として、京都大学を中心とした国立大学から生まれた研究成果を活用する企業を対象に投資やその他の事業支援を行っております。当社は現在、総額 160 億円のイノベーション京都 2016 投資事業有限責任組合（以下「KYOTO-iCAP1 号ファンド」）（2016年1月設立）と総額 180 億円の KYOTO-iCAP2 号ファンド（2021年1月設立）を運営しています。KYOTO-iCAP 1 号ファンドの満期は最長 20 年、KYOTO-iCAP 2 号ファンドの満期は最長 17 年に設定しており、基礎研究に強みを持つ京都大学の研究成果の実用化を長期にわたって支援することが可能となっています。また、KYOTO-iCAP 2 号ファンドでは、一部資金を京都大学以外の国立大学発ベンチャーに投資することとしています。

【お問い合わせ先】

京都大学イノベーションキャピタル株式会社
〒606-8317 京都市左京区吉田本町 36 番地 1
事業企画部長（広報担当） 河野修己
TEL : 075-753-7588 FAX : 075-753-7592
E-mail : info@kyoto-unicap.co.jp